



5月20日(火)

## 与えることに備える

聖書朗読 エペソ 4:11~13

「受けるよりも与えるほうが幸いである。」

使徒 20:35

最初に神は、私たちをしもべとして創られました。パウロはエペソの2章10節で次のように述べています。『私たちは神の作品であって、良い行いをするためにキリスト・イエスにあって造られたのです。神は、私たちが良い行いに歩むように、その良い行いをあらかじめ備えてくださったのです。』

ここでもべという言葉、それに関連した執事という言葉は、仲介者という意味です。私たちの持っている物で自分の所有物は何もありません。神が全てを与えて、今の私たちにしてくださったのです。私たちの役割は、与えられた賜物や能力を必要としている人達へ分け与えることです。これが仲介者の意味です。

今日の朗読箇所は、教会に対する神のご計画です。教会の指導者は、各メンバーに最も適した仕事をあてがい、神が各人に授けて下さったすばらしい賜物を、イエス・キリストの働きまでに成長するために、お世話することが任務です。神様の御子であるキリストを見て御覧なさい。イエス・キリストは自分の持っている全てをお与えになりました。しかし多くのイエス・キリストの信者と呼ばれる人々が、与えられた賜物を自分のために使いました。貧しい人は貧しいままで、空腹は満たされることがありませんでした。さまよう人は、歩むべき道を探す機会も与えられなかったのです。しかしもっといい話があります。神が私たちにお与えになった物を、神の栄光のために使い、共有しましょう。

聖歌 662

祈り 素晴らしい創造主よ。私たちが受け取った賜物を覚えて、必要な人と分かちあうことが出来ますように。信仰深いしもべとして生きて与えられた物を必要なときに役立てることが出来ますように。

イエス様の御名により。アーメン。

アール・D・ラベンダー

テネシー州 ブレントウッド

5月21日(水)

## 父の家

聖書朗読 Iテサロニケ 4:16~18

わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったなら、あなたがたに言うておいたでしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。

ヨハネ 14:2

教育実習生が私たちの公立学校の4年生のために特別授業を担当しました。子どもたちはめいめい仕事と賃金の書いた紙切れを引き出し、賃金を集めてそれを教室の周りの施設内で使うというゲームをしました。施設内にはレストラン、衣料品店、不動産屋、キャンディー店、ゲーム店、サッカーやカントリーフェアの切符屋などがありました。

大学生は、子どもたちが稼いだお金を直ぐに遊興やゲームやキャンディーを買うのに使うと予想していました。しかし、予想は完全に裏切られ、施設内で子どもたちが最初に目をつけたのは住の確保で、次に食べ物、衣料の順になったことに学生たちは驚きました。

この子どもたちは非常に貧しい地域の出身で、彼らはその夜に寝る場所のあてもなく家出をしたり、すでにホームレスになっている子どももいます。避難所を渡り歩いている子もいます。彼らはただ住む場所がほしいのです。

イエス様は、私たちの永遠の住みかに対する要求に答えて、天から降りてきて私たちと一緒に引き上げ、特別な場所を準備すると言われました。何とありがたい約束でしょう。

讃美歌 第二編 223

祈り 神様。天国への約束に感謝します。あなたと共に静かに永遠の住みかへと導いてください。

イエス様の御名により。アーメン。

ジョイス・ハーディン

テキサス州 オースティン

5月22日(木)

## 神の好きな言葉はイエスです

聖書朗読 テトス 3:3~8

神は、すべての人が救われて、真理を知るようになるのを望んでおられます。

Iテモテ 2:4

イエス・キリストは、神の約束を全てイエス（逆らうことなく、「はい」）として実行されました。実際イエス（イエス・ノーのイエス）は、神の好きな言葉です。主に聞いてみてください。私を愛してくれていますか。私たちのための計画はありますか。答えは両方イエス（はい）です（ヨハネ3:16, Iヨハネ4:10参照）。

イエス（はい）とは、あなたにとっての永遠の救い主と解釈してみたいかがでしょうか。イエス・キリストの話に触れるたびに、私は神がイエス・キリストを神の永遠のイエス（救い主）として遣わされ、「私はあなた方を愛しており、家族の一員になる事を望んでいる」と言われているようです。『バプテスマを受けてキリストにつく者とされたあなたがたはみな、キリストのその身を着たのです。』（ガラテヤ 3:27）。私たちは、神の国へ生まれ変わったのです。私たちは、神のイエス（救い主）を自分達のイエス（神の救いを受け入れるイエス、すなわち生まれ変わり）で受け入れました（ヨハネ3:3, 5参照）。

私が光の中を歩んでいるのなら、御子イエスの血はすべての罪から私たちを清めてくださいますか。答えはイエス（はい）です（Iヨハネ1:7参照）。私が最後に、天国で神と一緒に居る場所は用意されていますか。答えはイエス（はい）です（ヨハネ14:1~6参照）。

世の中には、神の好きな言葉がイエス（逆らわない）だと言うことを知らない人がたくさんいます。また神は、人々の罪を救うことを望んでおられ、そのために御子を身代わりとして遣わされました。さあ神のイエス（救い）を述べ伝えていきましょう。

讃美歌 第二編 60

祈り 神様。イエス様の名のもとに私の必要にイエス（はい）と答えてくださり感謝します。

イエス様の名により。アーメン。

マーク・R・ガイ

カルフォルニア州 バジエロ

5月23日(金)

## たましいの錨

聖書朗読 ヘブル 6:10~20

この望みは、私たちのたましいのために、安全で確かな錨の役を果たし、

ヘブル 6:19

錨はどの船にも装着されている基本的なものです。船は、航行しない夜や、港に停泊のため少しはなれたところで待機している時、風や潮流や海流に流されないように、静かな海に錨を下ろします。錨は船が嵐に巻き込まれたり、浅瀬に乗り上げたり、岩に突っ込んだりするのを防止するためにも使用されます。

ヘブル人への手紙の著者は、イエス・キリストにある私たちの望みを、船の錨にたとえています。平穏な間でも、船は錨を下ろさず流されることがあるように、私たちは、自分達の周りの僅かな問題でも神様から離れる危険性を帯びています。イエス・キリストにおける私たちの望みは、私たちを望むべき姿に保ってくれています。

船が嵐に遭うように、私たちが人生の荒波に遭遇した場合、さまよって浅瀬に座礁するように落胆したり、岩にぶつかって船が壊れてしまうという、悲しみや絶望に陥る危険性があります。主にある望みは、私たちをしっかりと捕まえて、嵐を乗り切る助けをしてくれます。

ここでは、『望みを捕らえるためにのがれてきた私たちが、力強い励ましを受けるためです。』（ヘブル 6:18）と述べられています。

讃美歌 280

祈り 主よ。あなたからいただいた望みの錨により、静かな海で流されることなく、また人生の嵐の中でも私たちの心の安全を確保して下さっている事に感謝します。

イエス様の御名を通して祈ります。アーメン。

ジャン・ノックス  
テキサス州 グランバリー

5月24日(土)

## 忍 耐 の 奉 仕

聖書朗読 ヤコブ 5：7～12

私たちは、いつもあなたがたすべてのために神に感謝し、祈りのときにあなたがたを覚え、絶えず、私たちの父なる神の御前に、あなたがたの信仰の働き、愛の労苦、主イエス・キリストへの望みの忍耐を思い起こしています。

Iテサロニケ 1：2～3

ごく最近のことです。年配の夫婦が、外食のためにダウン症候群の息子とファミリーレストランへ出かけるのを見かけました。頭に浮かんだのは、両親の息子さんへの労苦、愛および奉仕です。私が感動するのは、母親が慢性的な病気を持った小さい子どもや配偶者の世話をしているのを見る時です。人生には、あまりにも多くの忍耐や奉仕の機会があります。

ヤコブは、農夫を用いて忍耐（秋の雨や春の雨が降るまで待つ）と奉仕（貴重な作物の収穫）の例を説明しています。またヨブ記が述べているのは、ヨブが最初自分に降りかかる不幸を理解できなかったことです。しかし彼は神様をのろったりしません。主の答えを待ち続けました。預言者たちは、主の名のもとに忍耐強くつながっていれば、神は哀れみを示し、約束を忠実に守ると説いています。これらすべての忍耐は、神の慈悲につながっています。

忍耐による忠実な奉仕には、不屈の努力が必要です。キリスト信者の兄弟姉妹と共に忍耐を実践することは、世界に向かって私たちが伝道奉仕に必要な忍耐を育ててくれます。忍耐は偉大な力です。がんばってください。

讃美歌 391

祈り 天のお父様。あなたのために忍耐を持って奉仕生活ができますように祈ります。

イエス様の御名により。アーメン。

ゲリー・W・ジェームズ  
オクラホマ州 スピロ

5月25日(日)

## 自信を持って生きなさい

聖書朗読 Iヨハネ3：16～24

「恐れないで、ただ信じていなさい。」

マルコ 5：36

「娘が死にそうだ。」「出血が止まらない。」「らい病で汚れた体になっている。」「私にはどこが足りないのでしょうか。律法を守ってきたのに」。これらは、イエス・キリストが、繰り返し毎日聞く言葉です。そしてその答えはいつも同じです。

信じなさい。私の言う通りにしなさい。必要以上に心配することはありません。病気のこと、霊的なこと、他人があなたをどう思うかということ、救い、経済や政治の危機についても心配する必要がありません。主は時に激励の言葉を発せられます。「恐れることはない」と。

第二次世界大戦中、ひとりのフランス人将校は、塹壕陣地の前で怪我をしました。全く無防備だった彼の近くで爆弾が破裂したのです。一人の同僚は、彼の危機を感じ塹壕から這い出て、怪我の手当てをして、彼を体でかばうようにして、ささやきました。「恐れることはない。私があなたの盾になる。敵は私を先に倒さないといけない」。このことは文字通り私たちとイエス様の関係も同じです。私たち今は、神様と交わりながら、今後も、神様の臨在のもとで、一緒に生きています。なぜならイエス様は身を低くし私たちに代わって死んでくださったのです。恐れることはありません。

聖歌 424

祈り 偉大なる防護者である主よ。あなたはいつも私たちのことを気にかけてくださっています。試練にある時に勇気と、試されるときに力を与えてください。

あなたの御子を通してのこの祈りを受け止めてください。アーメン。

ビル・マクノドウ  
カンボディア シエンリープ